

氏名	丸山優	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1999年千葉大学看護学部卒業、2004年千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2017年順天堂大学医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手、2012年同講師、2018年同准教授				
所属学会（役職）	日本老年看護学会（理事）、日本認知症ケア学会（代議員）、日本看護教育学会（評議員）、日本看護科学学会、千葉看護学会、日本保健医療福祉連携教育学会、S P U学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	急性期病院における高齢者のフレイル予防・回復に向けた看護	共著	なし		老年看護学、29（2）、34-39	山本恵子、丸山優、湯浅美千代	2025.1
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	高齢入院患者の「動き」を促進する急性治療期の看護実践-老人看護専門看護師へのインタビュー調査	共同	日本老年看護学会第29回学術集会、高知市		○丸山優、畔上光代、水間夏子、國澤尚子、大塚真理子		2024.6
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	急性期病院における高齢者のフレイル予防・回復に向けた看護	共著	日本老年看護学会第29回学術集会、高知市		湯浅美千代、山本恵子、丸山優、正木治恵		2024.6
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称		研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		高齢入院患者のmobilityを促進する急性治療期の看護実践プロトコルの開発		研究代表者		2021.4～2025.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		高齢者の外反母趾・浮き趾による転倒予防に対する看護介入の効果		研究分担者		2021.4～2025.3
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	老年看護学Ⅳ		8	3年次生を対象に、医療機関と地域が継続して高齢者を支援することを学べるようにグループワークを支援した。			
2	ヒューマンケア論		1	1年次生を対象に、看護におけるケアについて講義を行った。看護学科以外の学生が関心をもち、看護のイメージを広げられるように、わかりやすい事例を取り上げた。			
3	病態生理学（大学院）		15	エビデンスに基づき対象の病態生理学的変化を解釈し、臨床看護判断を行うために必要な知識と技術について学習する科目において、受講者が自らの実践を振り返り、理解を深められるよう支援した。			

4	保健医療福祉研究方法特論（大学院）		2	質的研究の特徴を理解し、論文を精読し活用できることを目指して講義を行った。質的研究に触れたことがない学生にとっても興味を持ってもらえるよう日常の事象や最近のトピックを取り上げた。
5	老年看護援助論（大学院）		2	超高齢社会の情勢に応じた老年看護の変遷と老年期を生きる人々の理解を深めるために老年看護に活用できる理論を担当した。老年看護実践の課題に関する理解を深め、発展に向けて考察した。
（２）演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学Ⅱ		15	3年次生を対象に、高齢者への排泄に関する援助方法の学習を目的として、講義、演習を行った。学生が主体的に取り組めるよう工夫した。
（３）実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ	○	2024.4～6	2年次生を対象に老人福祉センターでの実習を担当した。施設を利用する高齢者とコミュニケーションをとりつつ、地域での支援のあり方を考えられるよう地域探索を取り入れるなどの工夫を行った。
2	老年看護学実習Ⅱ		2024.10～12	3年次生を対象にふれあい生協病院における地域包括ケア病棟での実習指導を担当した。新規開拓の施設であり、臨床指導者と共に、学生が高齢者の回復を支援する関わりを主体的に実践できるように検討しながら指導した。
3	総合実習（老年看護学領域）		2024.7	4年次生を対象に埼玉協同病院回復期リハビリテーション病棟での実習を担当した。学生の学習課題を踏まえて、臨地実習において入院中の高齢者や専門職との関わりから学びを深められるように指導した。
4	ＩＰＷ実習		2024.8～10	春日部市立医療センターでの実習を担当した。他領域の学生がチームを形成し患者の課題を検討するプロセスを通じて、チームメンバーの相互理解や合意形成を学べるように支援した。
（４）論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2024.12	主指導	4名 副指導0名
2	修士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員）	0名 副指導（指導補助教員）1名
（５）その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	埼玉協同病院教育研修センター「IPW研修」講師	2024.10～2025.2	中堅多職種職員を対象としたIPW研修を病院の担当者ととともに企画し、実施した。	
2	順天堂大学大学院医療看護学研究科 高齢者看護学特論Ⅰ（概論）	2024.7	非常勤講師として「看護理論の高齢者看護への適用」のテーマでメレイスの移行理論について講義を担当した。	
3	順天堂大学大学院医療看護学研究科 高齢者看護学特論Ⅱ（アセスメント論）	2024.5	非常勤講師として「高齢者の健康生活の評価方法」のテーマで、生理機能の評価（呼吸循環器、消化器、代謝）の講義を担当した。	
4	埼玉県立大学大学院修士論文審査	2024.10～2025.2	修士論文審査において副査をつとめた。	
4．社会貢献活動				
（１）講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	看護研究指導講師	越谷誠和病院	看護研究指導	2024.4～2025.3
2	看護研究講評	越谷誠和病院	看護研究発表に対する講評	2025.2
3	看護研究・実践報告講評	埼玉県看護協会南部支部	看護研究発表・実践報告に対する講評	2025.2
4	埼玉未来大学（中央、東部）講義	埼玉未来大学	介護を考える	2025.1

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	さいたま市社会福祉事業団	評議員	2024.6～2025.3
2	日本看護協会	最新看護索引編集委員	2024.6～2025.6
3	日本老年看護学会	理事、総務、編集委員会委員	2024.6～2026.6
4	日本認知症ケア学会	代議員・学術誌査読委員	2022.5～2026.5
5	日本看護学教育学会	評議員・学術誌査読委員	2024.6～2026.6
6	千葉看護学会	編集委員会委員、査読委員	2024.6～2026.6
7	日本保健医療福祉連携教育学会	査読委員	2023.2～2025.3
8	日本保健医療福祉連携教育学会第17回学術集会	事務局総務担当	2024.4～2025.2
9	日本老年学会	幹事	2024.6～2026.6
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし	日本認知症ケア学会	第25回日本認知症ケア学会大会（東京）示説発表座長 2024.6
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会委員	2024.4～2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	IPEセンター所員	2024.4～2025.3
3	学科等における委員会等	学部3年生担任	2024.4～2025.3
4	学科等における委員会等	JABNEプロジェクト	2024.4～2025.3
5	大学広報活動	オープンキャンパス担当	2024.6
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		